

[HOME](#)

アクション進捗状況

- 戦略1** 新たな市場の開拓 [»](#)
- 戦略2** 価値創造に向けた基盤強化 [»](#)
- 戦略3** 開拓、創造のための業務効率化 [»](#)
- 戦略4** グローバルな事業展開と人材確保 [»](#)
- 戦略5** フラットで柔軟な組織づくりと人材育成 [»](#)
- 戦略6** 多様な働き方を促進する環境づくり [»](#)
- 戦略7** 営業力と発信力の強化 [»](#)

[HOME](#)

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略1 新たな市場の開拓

- [1-1 新規事業への挑戦](#) »
- [1-2 事業ドメインの拡大](#) »
- [1-3 ビジネスインキュベーションを推進する仕組みの検討](#) »
- [1-4 ビジネスアライアンスの構築](#) »

[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略2 価値創造に向けた基盤強化

- 2-1** マネジメント技術の基盤強化 [»](#)
- 2-2** ソリューション技術の基盤強化 [»](#)
- 2-3** 組織的なナレッジの構築と活用 [»](#)
- 2-4** LCM領域のリブランディング [»](#)
- 2-5** 魅力あるサービスパッケージの開発による業務報酬の向上 [»](#)

[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略3 開拓、創造のための業務効率化

3-1 業務プロセス改革

»

[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略4 グローバルな事業展開と人材確保

- 4-1** グローバルマーケットに対する営業戦略の策定と実行 [»](#)
- 4-2** グローバル人材の確保と組織整備 [»](#)
- 4-3** 社員のグローバル教育 [»](#)

[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略5 フラットで柔軟な組織づくりと人材育成

- [5-1 マネジメントコンサルティングファーム型組織の構築](#) »
- [5-2 マネジメントコンサルティングファームにふさわしい人事制度の改定](#) »
- [5-3 人材の適正性が判断可能な採用戦略の策定](#) »
- [5-4 キャリアプランの構築と人材育成計画](#) »
- [5-5 情報漏洩リスクマネジメントの強化](#) »
- [5-6 コンプライアンス遵守](#) »

[HOME](#)

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略6 多様な働き方を促進する環境づくり

- [6-1 多様な働き方の実現](#) »
- [6-2 ワークプレイス改革](#) »
- [6-3 健康活動の支援、福利厚生の充実化](#) »
- [6-4 自己実現支援](#) »
- [6-5 コミュニケーション活性化](#) »

[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

[HOME](#) / [アクション進捗状況](#)

戦略7 営業力と発信力の強化

7-1 営業力の強化 [»](#)

7-2 発信力の強化 [»](#)

7-3 社名変更 [»](#)

[HOME](#)

NIKKEN SEKKEI CONSTRUCTION MANAGEMENT

1-1 新規事業への挑戦

関連戦略 1-3 1-4 6-5 7-2



目的

1. BIMやICT/IoT等の最新のテクノロジーを利用し、建設生産システムのデジタルディスラプションに挑戦する。
2. 社会やクライアントのニーズを的確に把握し、既存の業務領域の枠を超えた新規事業の開発を行う。

a. BIMを通じた建築生産改革等
 b. 新規事業への挑戦
 c. 新規事業領域開拓チームの設立による実行体制の強化
 担当役員 ★服部裕一
 実行主体 新規領域開拓チーム
 実行者 ●吉本圭二、高田敏光、中林孝了、上ノ町圭一、吉岡優一、平山英幸、西野祐樹



最終更新日：2021年01月08日 最終更新者名：服部

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□ a. BIMを通じた建築生産改革等													
1. 「やさしいBIM」の開発	60%以上	概算算出や発注に最適なLODの検討 「やさしいBIM」の定義設定 「やさしいBIM」の商標出願・登録											
2.BIMによるマネジメント手法の開発	60%以上	日生や住商の手法の検討 マネジメント手法の具体検討											
3.BIMを利用した新たな発注方式の検討	着手中	BIM-ECコンソーシアムへの参加 ECの課題検討											IPD方式の研究
4.BIM-FMシステムの開発と実用化	着手中	システムの構築開始											
□ b. 新規事業への挑戦													
1.新規事業アイデアの汲み取り	60%以上	継続的なアイデアの収集											
2.既存事業領域の枠を超えた事業の検討	60%以上	ターゲットの選定											
3.ICT等の技術を利用した新たな事業の検討	着手中	日建設計DX連絡会への参画 事業の可能性検討											
4.新規領域開拓に向けた外部ネットワーク構築	60%以上	WeWorkの利用開始 ネットワークを利用した情報収集											
□ c. 新規事業領域開拓チームの設立による実行体制の強化													
1.新規領域開拓チームの設立と活動実践	進行完了	具体的な事業ターゲットの選定 新規事業のビジネス化											
2.日建グループと連携した新規事業開拓	60%以上	ソリューションG、IoT推進室、イノベーションセンターとの連携、連携内容や事業の具体に関する検討											
3.外部アライアンス、ネットワークの構築	進行完了	ネットワークを利用した情報収集 WeWorkの利用開始、情報収集											
4.チーム活動内容の広報や発信の強化	60%以上	orkでの活動開始、ジャンボリー開催 継続的な情報発信と活動の広報											

1-2 事業ドメインの拡大

関連戦略 1-1 1-4 6-5



目的

社会やクライアントのニーズを把握しながら現業状況を的確に分析し、NCMのさらなる発展を目指す。既存の業務領域の枠を超えた事業ドメインとして不動産領域をターゲットとし、具体的な行動を実践する。

a. AM・PM・CRE・FM領域への拡張
 b. 資産譲渡・取得支援・オーナー事業への拡張
 担当役員 ★服部裕一
 実行主体 事業性検討G
 実行者 ●小畠恒介、東利彦、板野敦生、伊藤雅



最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□ a. AM・PM/CRE・FM領域への拡張													
1.CRE関連業務の拡大展開	60%以上	ターゲットを絞ったCR活動の実践											
2.事業性コンサル業務の拡大展開	60%以上	事業性検討業務の積極的な実践 あすか製薬他における業務実践											
3.AM業務への展開	着手中	業務実施に向けたアライアンスの検討 課題や業務実施の可能性検討											
4.PM業務への展開	着手中	業務実施に向けたアライアンスの検討 課題や業務実施の可能性検討											
□ b. 資産譲渡・取得支援・オーナー事業への拡張													
1.宅建取引業の免許取得	進行完了												
2.不動産オーナー事業の実行	着手中	日建設計プロジェクトへの準備 日建設計プロジェクトへの参画											
3.最適な発注方式(分離発注他)の構築	着手中	課題把握とBIM-ECとの連携検討 具体的な発注方式の検討とBIM-ECとの連携											

1-3 ビジネスインキュベーションを推進する仕組みの検討

関連戦略 1-1 7-2



目的

会社が定めた枠組みにはまるごとなく、意識の高い個々の役職員の自由な活動から生まれるアイデアをオープンに受け入れ、迅速に実行に移す。

担当役員 ★田中康範
実行主体 経営企画会議
実行者 ●山本健二、阿部芳久、櫛谷拓巨、去川順子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.推進する仕組み(制度)	着手中	検討着手											

1-4 ビジネスアライアンスの構築

関連戦略 1-1 1-2 6-5 7-1



目的

新規事業開発に必要となる専門ノウハウの調達手段として、また、質、量、効率の補完を目的として、積極的なビジネスアライアンスの構築を行う。

LONG-LISTを作成し、アライアンス候補をピックアップ。covid-19影響で止まっていたへのヒアリングを再開しています。

プロジェクトを通して、ご担当の尽力もあり、ワークスタイル/ワークプレイス（佐々木康さん）、オフィス・商業マーケット（佐藤久さん）等のアライアンスが進んでいます。

担当役員 | ★鶴巻真一、服部裕
一、田中康範
実行主体 | 経営企画会議、新規領域開拓チーム
実行者 | ●阿部芳久、上ノ町圭一、吉岡優一、吉本圭二



最終更新日：2020年12月23日 最終更新者名：鶴巻

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.新規事業領域開発のためのアライアンス	着手中	着手、領域を整理、パートナー業種検討 コロナ中断											
2.地域ネットワーク構築のためのアライアンス	60%以上	着手、エリア整理、パートナー業種検討 ヒアリング											
3.質と量を補うためのアライアンス	着手中	着手、戦略検討、パートナー業種検討 コロナ中断 ヒアリング											
4.CR活動におけるアライアンス	着手中	着手、戦略検討、パートナー業種検討 コロナ中断 ヒアリング											ヒアリング再開

2-1 マネジメント技術の基盤強化

関連戦略 [2-2](#) [2-3](#) [5-4](#)

目的

NCMの基盤であるマネジメント技術を属人的な技術に頼ることなく、すべての職員が会得し提供できるよう、マネジメント技術を集約・体系化し、育成の仕組みをつくることで基盤を強化する。

a. 育成プログラムの実施

担当役員 **★古川伸也**
実行主体 研修委員会
実行者 ●車司太郎、菅原幸也、早崎敬一、森健一、今西聰、立石一成、松尾忠明



b. マネジメント教本の配布と実践

担当役員 **★古川伸也**
実行主体 ナレッジマネジメントG
実行者 ●栗飯原熏、今西聰、鈴木勝之、松岡秀典、江原斐、小田史織、河内邦彦、佐久間周一、廣野大樹、菊地佳南

最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：古川 伸也

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□ a. 育成プログラムの実施													
1.研修体系全般の検討、見直し	60%以上	着手	新研修体系を公表	2020年度の研修体系の見直し									
2.技術会議の内容検討、開催	60%以上	着手	2020年度の技術会議の検討・実施										
3.日建G・協会・外部講座の把握と受講促進	60%以上	着手	2020年度の講座の調整・情報提供・受講促進										
4.新規研修プログラム検討、実施	60%以上	検討・開催	着手	方針確定、研修開始									
□ b. マネジメント教本の配布と実践													
1.CMツールの見直し	60%以上	検討中	教本発刊に合わせ見直し完了予定										
2.ドキュメントデザインの見直し	60%以上	2020年度の更なる見直し □ 教本発刊に合わせ見直し完了予定											
3.関連資料、リンク先の体系化	60%以上		教本発刊に合わせ見直し完了予定	調査中									
4.原稿執筆、査読、編集、制作、発行	60%以上	着手	PDF改訂版発行	PDF改訂版発行	CM技法（海外・LCM）の執筆・編集・発行								

2-2 ソリューション技術の基盤強化

関連戦略 2-1 2-3 2-4 5-4



目的

より高度な専門技術力を用いたソリューション力を組織として保有できるよう、日建設計グループや外部組織とのネットワークを強化するとともに、その技術の集約・体系化と育成の仕組みをつくることで基盤を強化する。

a. 育成プログラムの実施

担当役員 ★古川伸也
実行主体 研修委員会
実行者 ●車司太郎、菅原幸也、早崎敬一、森健一、今西聰、立石一成、松尾忠明



b. ソリューション教本の配布と実践

担当役員 ★古川伸也
実行主体 ナレッジマネジメントG
実行者 ●栗飯原薰、今西聰、鈴木勝之、松岡秀典、江原獎、小田史織、河内邦彦、佐久間周一、廣野大樹、菊地佳南

最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：古川 伸也

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① a. 育成プログラムの実施													
1.研修体系全般の検討、見直し	60%以上												
2.技術会議の内容検討、開催	60%以上												
3.日建G・協会・外部講座の把握と受講促進	60%以上												
4.新規研修プログラム検討、実施	60%以上												
② b. ソリューション教本の配布と実践													
1.CMツールの見直し	60%以上												
2.ドキュメントデザインの見直し	60%以上												
3.関連資料、リンク先の体系化	60%以上												
4.原稿執筆、査読、編集、制作、発行	60%以上												

2-3 組織的なナレッジの構築と活用

関連戦略 [2-1](#) [2-2](#) [3-1](#) [6-5](#)

目的

社内外に散在する知識の集約と体系化とその活用に向けた戦略づくりと、業務効率化・生産性向上・業務品質向上に向けた各種マニュアル・システム・データベースなどの基盤整備を行う。

a. ナレッジマネジメントの包括的戦略構築

b. 知識の活用・業務効率化に向けた整備

c. 高度な解決策提供基盤の構築

d. 技術交流ネットワークの強化

担当役員 **★古川伸也、鶴巻真一**実行主体 **ナレッジマネジメント**

G

実行者 **●栗飯原薫、今西聰、****鈴木勝之、松岡秀典、****江原要、小田史織、河内邦彦、佐久間周一、****廣野大樹、菊地佳南**

最終更新日：2020年12月23日 最終更新者名：古川 伸也

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□ a. ナレッジマネジメントの包括的戦略構築													
1.ナレッジに関する現状把握	進行完了	現状把握は概ね完了											
2.改善の方向性と戦略立案	60%以上	戦略策定											
3.ナレッジマネジメント体系構築	60%以上	体系構築		コンテンツの充実									
4.個別の施策の推進計画策定・実行	60%以上	計画策定開始 継続して活動・具体化											
□ b. 知識の活用・業務効率化に向けた整備													
1.ナレッジの共有システムの開発	60%以上	外部委託の検討・協議開始 着手							再検討				
2.業務効率化ツールの開発	60%以上	着手	年内継続して活動、次年度も継続										
3.定型書式の整備、ツール化	60%以上			教本 PDF 版に合わせ、完了			教本第2弾に合わせた整備						
4.知財管理に関する制度化	60%以上	制度化完了予定											
□ c. 高度な解決策提供基盤の構築													
1.スキルマップ見直し	着手中	着手		新人事制度に合わせた見直し 過去実績 フェーズ、アイテム項目出し					整備依頼				整備編集
2.プロジェクトで構築した技術の展開	着手中	2020年度の検討		過去実績 フェーズ、アイテム項目出し				整備依頼					整備編集
3.LABで構築したノウハウの展開	着手中	2020年度の継続検討		過去実績 フェーズ、アイテム項目出し				整備依頼					整備編集
4.インシデント管理と情報共有	着手中	2020年度の継続検討		過去実績 フェーズ、アイテム項目出し				整備依頼					整備編集
□ d. 技術交流ネットワークの強化													
1.ネットワーク先候補の把握と絞り込み	着手中	ネットワーク先確定		過去実績洗い出し アライアンスと連動 適宜意見募集			窓口選定						ポータル整備・UP
2.ネットワーク先毎の担当の選定	着手中	着手 担当確定		過去実績洗い出し アライアンスと連動 適宜意見募集			窓口選定						ポータル整備・UP
3.各外部組織等の選定と入会	着手中	選定、次年度入会		情報実績洗い出し アライアンスと連動 適宜意見募集			窓口選定						ポータル整備・UP
4.技術交流プログラムの企画・運営	着手中	企画案検討、実施に向けた検討		過去実績洗い出し アライアンスと連動 適宜意見募集			窓口選定						ポータル整備・UP

2-4 LCM領域のリプランディング

関連戦略 2-2 2-5



目的

LCM分野の重要性は従前から理解されてきているものの、これまで新たな展開には結びついていない。「リプランディング」と言える新たな動きをつくり、さらなる展開を目指す。

担当役員 ★田中康範
実行主体 LCMグループ
実行者 ●石坪章、早崎理、井上隆文、加藤秀雄



最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.過去の総括・課題整理・方向性確認	着手中	着手											
2.具体的な新規サービス内容の検討	着手中												サービス内容の整理
3.LCM業務体制の見直し	着手中												
4.受託目標設定とプロモーション活動	着手中												

2-5 魅力あるサービスパッケージの開発による業務報酬の向上

関連戦略 2-4

目的

NCMとしての独自の業務報酬基準を設定することにより、より柔軟な価格交渉を行うとともに、報酬のアップを図る。

顧客のニーズを分析の上、営業用サービスパッケージの作成を検討する。

a. 業務報酬基準の策定と周知

担当役員 ★平石謙
実行主体 CRグループ
実行者 ●阿部芳久、合志貴宏、中田優子、小田史織



b. サービスパッケージの開発

担当役員 ★服部裕一
実行主体 CR戦略会議
実行者 ●酒藤幹雄、石坪章、中田優子



最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① a. 業務報酬基準の策定と周知													
1. 建設計に準拠してNCM報酬基準を策定	進行完了												
2. 業務報酬基準の周知	進行完了												
3. 浸透度合いの分析	進行完了												
4. 次期基準を独自基準か既建基準かを決定	未実施												
② b. サービスパッケージの開発													
1. クライアントニーズ分析(CS調査)	進行完了												
2. サービスパッケージの開発	着手中												
3. 新サービスのCR活動	未実施												

3-1 業務プロセス改革

関連戦略 [2-3](#) [5-5](#) [6-2](#)

目的

創造的でより付加価値の高いサービスを提供するため、現状の業務をより効率化するとともに、確実な業務遂行、プロセスのトレーサビリティーの確保、業務品質の向上に向けた業務の進め方の改革を行う。

a. 業務内容の分析とプロセスの改善

担当役員 ★古川伸也、齋藤真一
実行主体 プロセス改革WG、ナレッジマネジメントG
実行者 ●川瀬千壽、早崎理、竹井正好、大澤雄二、金井淳、河内邦彦、杉村佳愛



b. 業務効率化

担当役員 ★齋藤真一、古川伸也
実行主体 プロセス改革WG、ナレッジマネジメントG
実行者 ●早崎理、竹井正好、川瀬千壽、大澤雄二、金井淳、河内邦彦、杉村佳愛



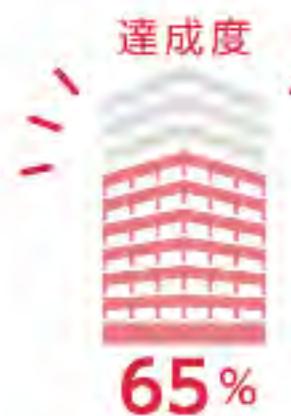
最終更新日：2020年12月23日 最終更新者名：古川 伸也

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□ a. 業務内容の分析とプロセスの改善													
1.現状の業務内容の実態把握と問題の抽出	60%以上	問題抽出作業開始											
2.業務効率化項目の投資対効果検証	着手中	施策の検証											
3.施策のメニュー化と実行計画の策定	60%以上	検証結果の報告											
4.ソフトウェアの開発等の改善施策の実行	着手中	施策のメニュー化											
		外部委託先の提案開始											
□ b. 業務効率化													
1.作成頻度の高い資料作成の自動化等の検討	着手中	電子承認、 名刺管理ツール検討											
2.PJチームによる会議運営ルールの改革	着手中	施策項目洗い出し											
3.成果効率を高く評価する仕組み・社風の構築	着手中	ツール検討 AI議事録検討											
4.現業外での日常の無駄の見直しと効率化	着手中	施策検討											
		WG検討会議											
		着手											
		WG検討会議											
		施策検討											
		コロナにより見直し											

4-1 グローバルマーケットに対する営業戦略の策定と実行

関連戦略 7-1



目的

日本企業の海外進出(アウトバウンド)や海外企業の国内進出(インバウンド)のグローバルマーケットの調査・分析結果をもとに新たな「グローバル戦略」を策定し、NCMのグローバルビジネスへの強みをさらに高める。

担当役員 ★服部裕一
実行主体 CR戦略会議、国際PJ担当G
実行者 ●石幡誠、阿部芳久、
清藤幹雄、岡本猛、
佐々木康實、松岡秀典



【関連トピックス】

2020/06 海外マーケット情報2020版 発行

2020/09 日建設計海外業務推進マニュアルの発行

2020/06 NCMグローバル戦略2021 発行

最終更新日：2020年12月23日 最終更新者名：服部

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.グローバルマーケットの調査・分析	60%以上	日建設計 GB 連絡会における情報交換 グローバルマーケットの調査・分析											
2.NCM新グローバル戦略の策定	60%以上			新グローバル戦略の検討									
3.新グローバル戦略にそった営業活動の実践	着手中	グローバルビジネスの CR 活動方針の検討											

4-2 グローバル人材の確保と組織整備

関連戦略 1-4 5-3 5-4 6-5



目的

グローバルビジネスの継続的な実施と将来的な拡大発展を目指し、国内外で活躍できるグローバル人材の確保と、今後の社会のグローバル化動向に迅速に追従できる柔軟な組織の整備を行う。

【関連トピックス】
イオフィスとの連携強化を開始
設置とあり方の検討開始

日建設計タ
グローバルPMの

担当役員 ★服部裕一
実行主体 CR戦略会議、国際PJ担当G
実行者 ●佐々木康貢、阿部芳久、石幡誠、清藤幹雄、岡本猛、松岡秀典



最終更新日：2020年12月23日 最終更新者名：服部

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.グローバル人材の把握と活用に関する検討	着手中	社内人材の海外経験やスキルの把握 人材活用の具体的な方策検討											
2.日建海外拠点との人材交流の検討	着手中	日建設計 GB 連絡会における情報交換 人材交流の具体的な方策検討											
3.グローバル人材の採用とアライアンス検討	着手中	社内人材の海外経験やスキルの把握 採用やアライアンスの具体的な方策検討											
4.21年に向けたグローバルの体制構築	着手中	グローバルビジネスの実施体制検討											

4-3 社員のグローバル教育

関連戦略 1-4 4-1 4-2 5-4 6-5



目的

社会のグローバル化に迅速に対応できる人材育成を目指し、より実践的な経験を蓄積できる教育環境を整備し、グローバル人材の精銳を育成する。

担当役員 ★古川伸也
実行主体 研修委員会、国際PJ担当G
実行者 ●車司太郎、阿部芳久、清藤幹雄、岡本猛、佐々木康貴、松岡秀典



最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：古川 伸也

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.グローバル教育方針の検討・策定	着手中	着手											
2.アライアンス先の検討・協議	着手中	着手											
3.グローバル教育プログラムの実施	着手中	着手											CM技法（海外）執筆・編集・同社内研修プログラムの実施
4.語学研修方針の見直し検討と実施	60%以上	研修の継続的実施											

5-1 マネジメントコンサルティングファーム型組織の構築

関連戦略 [5-2](#) [5-3](#)

目的

さらなる成長を支えるために、重層化やセクションナリズムといった組織の硬直化を取り除いたプロジェクト志向のフラットな組織構成と、プロジェクト・CR・人事管理の3ラインによる柔軟な組織運営を実現する。

担当役員 ★田中康範
 実行主体 経営企画会議
 実行者 ●杉浦智也、橋本直樹、早崎理、山本健二、阿部芳久、柳谷拓巨、岩阪聰一郎、川窪千壽、去川順子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.フラットな組織の具体化	60%以上	具現化検討着手					新体制	詳細検討・まとめ・追加検討					
2.外部コンサルタントからの助言	60%以上	調査・分析・助言まとめ	助言				中間報告		社内説明				最終説明会

5-2 マネジメントコンサルティングファームにふさわしい人事制度の改定

関連戦略 5-1 5-3

**目的**

コンサルティングファーム型組織にふさわしい職階・職能の見直しと、それに伴う人材の再配置、多様な能力や働き方を評価する人事制度への改定を実施する。

担当役員 ★田中康範
実行主体 経営企画会議
実行者 ●山本健二、阿部芳久、柳谷拓巨、去川順子



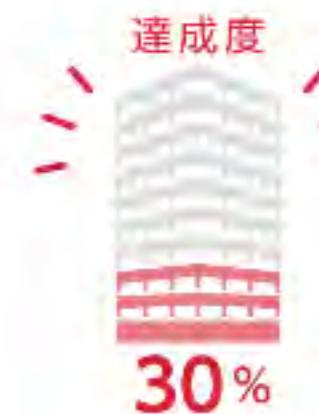
最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.人事制度の改訂	60%以上	検討着手					中間報告			改定準備			
2.外部コンサルタントからの助言	60%以上	意見交換・助言								社内説明			最終説明会

5-3 人材の適正性か判断可能な採用戦略の策定

関連戦略 4-2 5-1 5-2



目的

外部の知見も取り入れた採用プロセスを構築・活用し、業務領域の多様化への対応、適正人材の見極め、組織年齢構成の適正化を考慮した戦略に基づいた採用を実現する。

担当役員 ★田中康範
実行主体 経営企画会議
実行者 ●杉浦智也、山本健二、阿部芳久、柳谷拓巨、去川順子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.採用計画	着手中	検討着手											2021年採用
2.採用プロセス	着手中												
3.外部コンサルタントからの助言	着手中	助言・意見交換											

5-4 キャリアプランの構築と人材育成計画

関連戦略 2-1 2-2



目的

業務領域の拡大に伴い多様な人材が必要となるが、組織の成長においてはキャリア採用だけでなく育成も重要であり、優秀な人材を育てる多様なキャリアプランに沿った人材育成を実現する。

担当役員 ★田中康範、古川伸也
 実行主体 経営企画会議、研修委員会
 実行者 ●今西聰、軍司太郎、山本健二、菅原幸也、神谷英子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.NCM人材のロールモデルの定義	60%以上	検討着手											ロールモデル策定
2.キャリアプランの設定	60%以上		検討着手			能力判断	詳細検討			社内説明			最終説明会

5-5 情報漏洩リスクマネジメントの強化

関連戦略 3-1



目的

情報漏洩の多くはヒューマンエラーが原因であり、ヒューマンエラー防止を中心に、基本的な考え方の共有と防止を支援する仕組みをつくる。

担当役員 ★田中康範、古川伸也
実行主体 経営企画会議、研修委員会、総務
実行者 ●伊藤隆彦、軍司太郎、菅原幸也、今西聰、横田秀和



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.リスクマネジメント研修の実施	着手中	研修の企画											
2.ハード・ソフト両面でのセキュリティー改善	60%以上	方策検討・状況把握											

5-6 コンプライアンス遵守

関連戦略 4-3 5-4



目的

コンプライアンスは、近年企業にとって最も重要な課題であり、社会の要請でもある。NCMが、あらゆるコンプライアンスに継続的に対応できる体制を構築する。

担当役員 | ★平石謙、古川伸也、
田中康範
実行主体 | コンプライアンス委員会、研修委員会
実行者 | ●山本健二、石坪章、
朝倉康之、井上輝郎、
長谷川久乃



最終更新日：2020年12月16日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.日建コンプライアンス室との協働	進行完了	着手											
2.ハラスメントアンケート実施	進行完了		着手、ハラスメントアンケート企画							第二回ハラスメントアンケート実施		ハラスメントアンケート実施	
3.モラル研修の実施	進行完了	着手											モラル研修実施
4.コンプライアンス企画を経営企画会議所管化	60%以上	着手実施											

6-1 多様な働き方の実現

関連戦略 6-2



目的

働く「場所」「時間」の概念・制度を再構築し、生活スタイルに合わせたストレスのない働き方環境を整備することで、職員の業務への高い生産性と成果を期待する。

担当役員 ★田中康範、水野和則
実行主体 経営企画会議、広報グループ
実行者 ●中田優子、石坪章、
山本健二、鶴谷拓巨、
去川順子、小早川朋
久、坂下哲哉、竹原由
香里、忠快仁、堀口桂
子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.場所の自由化(制度検討)	60%以上	実施施策候補選定			シェアオフィス利用開始・現制度認知度UP・その他制度化検討								社内説明
2.時間の自由化(制度検討)	60%以上	実施施策候補選定		現制度認知度UP・その他制度化検討									社内説明
3.育児・介護等の負担軽減支援(制度検討)	60%以上	実施施策候補選定		現制度認知度UP・その他制度化検討									社内説明
4.ブックレット配布	未実施												

6-2 ワークプレイス改革

関連戦略 6-1



目的

心地よく、また新しい働き方も実践できるワークプレイスを、全社で統一したコンセプト・ガイドラインで展開することで、資産の適正運用と環境改善による職員の業務への高い生産性と成果を期待する。

担当役員 ★田中康範
 実行主体 ワークプレイスTFチーム、経営企画会議
 実行者 ●榎本拓幸、石坪章、山本健二、大澤雄二、小田史織、川名敏子、小早川朋久、竹原由香里、忠快仁、堀江愛子、毛利滋英、山畠毅



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.オフィス環境美化	着手中	活動開始、毎月活動											
2.オフィス整備(フリーアドレス化)	着手中	検討着手 保有資料削減(全地区)								全地区 簡易フリーアド!			
3.ワークプレイスガイドライン	着手中	NCM Wpガイドライン策定 外部コンサル参画								NCM Wpガイドライン見直し			
4.FM戦略	着手中	検討着手											

6-3 健康活動の支援、福利厚生の充実化

関連戦略 6-4



目的

健康活動を支援、福利厚生を充実することで、働きがいがある職場醸成と各個人のモチベーション向上を図り、その先の効果として業務への高い生産性と成果を期待する。

担当役員 ★田中康範、水野和則
実行主体 経営企画会議、総務、広報グループ
実行者 ●堀口桂子、石坪章、山本健二、井上輝郎、中田優子、去川順子、小早川朋久、坂下哲哉、竹原由香里、忠快仁



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.スポーツイベントなどへの支援制度	60%以上	実施済策候補選定		現制度認知度UP・その他制度化検討								社内説明	
2.福利厚生の充実	60%以上	実施済策候補選定		現制度認知度UP・その他制度化検討								社内説明	

6-4 自己実現支援

関連戦略 6-3



目的

自己実現を支援することで、働きがいがある職場醸成と各個人のモチベーション向上を図り、その先の効果として業務への高い生産性と成果を期待する。

担当役員 ★田中康範、水野和則
実行主体 経営企画会議、広報グループ
実行者 ●忠快仁、石坪章、山本健二、柳谷拓巨、中田優子、去川順子、小早川朋久、坂下哲哉、竹原由香里、堀口桂子



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.自己啓発の支援制度	60%以上	制度運用											
2.副業制度	着手中	事例収集											
3.社会貢献活動の支援制度	着手中	実施施策候補選定	制度化検討										
4.退職後の再雇用支援制度	着手中	WG検討開始	制度化検討										

6-5 コミュニケーション活性化

関連戦略 [1-1](#) [1-2](#) [1-4](#) [2-3](#) [4-2](#)

目的

社内外のコミュニケーションを活発化するためのイベント企画と実施を行う。

担当役員 ★水野和則、鶴巻真一
実行主体 広報グループ、新Talks
実行委員会
実行者 1,2,3:●酒藤幹雄、佐々木康貴、杉浦智也、中田優子、北条洋寿 4:●石坪章、岩崎成晃、神谷英子、小早川朋久、菅沼茂雄、角田花菜、森山昇一、山畠毅



最終更新日：2020年12月25日 最終更新者名：水野

2020年

実行項目	進捗	2020年												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1.社長DAY	着手中			2020第1回	■			2020第2回	■		2020第3回	■	2020第4回	■
2.異業種交流支援	着手中	CM会社懇親会 新規領域開拓チームと共同検討 CM会社懇親会はコロナ禍により中止■今後オンライン懇親会を試行？												
3.社内交流企画	着手中	コロナの影響により社内交流のありかたそのものが変化。実際の運用は2021年以降に繰り延べ。職員からのニーズ把握するためのアンケート 企画に基づき、交流促進ルールを策定												
4.Talks	着手中	チーム内フレスト、企画書作成 コロナで延期		6th web talks	7th					9th	10th	11th		

7-1 営業力の強化

関連戦略 [1-1](#) [2-5](#) [4-1](#)

目的

全社共通の営業システムを構築する。そのため、営業ハンドブック等のツールを作成し周知する。

CR戦略の方針決定、計画策定、実行を速やかに行う体制をつくる。信用照会、トラブル対応、CS調査等ディフェンス面を強化する。

a. CR行動指針とCR戦略の策定
担当役員 ★服部裕一
実行主体 CR戦略会議
実行者 ● 清藤幹雄、阿部芳久、伊藤隆彦、合志寅宏、中田優子



b. CRグループの強化とCR戦略の実行
担当役員 ★平石謙
実行主体 CRG
実行者 ● 阿部芳久、清藤幹雄、合志寅宏、中田優子、小田史織



c. CR管理グループの強化とCR行動指針の実行
担当役員 ★平石謙
実行主体 CRG、プロジェクト管理G
実行者 ● 中田優子、阿部芳久、清藤幹雄、合志寅宏、小田史織

最終更新日：2020年12月22日 最終更新者名：服部

2020年

実行項目	進捗	2020年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
□ a. CR行動指針とCR戦略の策定													
1.CR行動指針とCR戦略策定と検証	進行完了												
2.建設計CRとの連携強化とNCM独自活動強化	60%以上												
3.専門性を高めたCR活動の実践	60%以上												
4.CS調査分析に基づく業務改善方針の策定	60%以上												
□ b. CRグループの強化とCR戦略の実行													
1.CR責任者の採用	進行完了												
2.CRグループの体制整備・計画の実行	進行完了												
3.CS調査の実施	進行完了												
4.新規顧客開拓に向けた全社的活動	60%以上												
□ c. CR管理グループの強化とCR行動指針の実行													
1.NCM営業ハンドブックの作成	進行完了												
2.CR管理グループの体制整備・役割の明確化	進行完了												
3.CS調査管理及ビ分析	進行完了												

7-3 社名変更



目的

これまでの課題を解消するとともに、VISION 2021で目指す新たな展望に呼応した社名への変更を検討する。

担当役員 | ★田中康範、水野和則、平石謙
実行主体 | 経営企画会議
実行者 | ●山本健二



最終更新日：2020年12月20日 最終更新者名：

2020年

実行項目	進捗	2020年												実施判断
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1.社名変更	着手中													